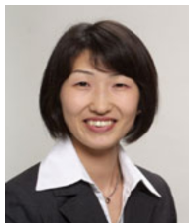


たばたあずみ



Tell・Fax 550 6674

山根とみえ



Tell・Fax 550 4224

戸沢ひろゆき



Tell・Fax 558 9721

3月定例市議会

たばたあずみ議員の一般質問

日本共産党のたばたあずみ議員は、3月議会の一般質問で(1)小中学校のエアコン設置について(2)申請書類の性別記載について(3)秋川駅自由通路の改善について の3点について質問しました。以下、質問の要旨を報告します。

小中学校のエアコン設置について

国や東京都から補助金が出ることになったことを受け、市長の施政方針にも小中学校へのエアコン設置が盛り込まれました。しかし、他の議員の質問の中で、市長はお金がかかり過ぎて実施は難しいと答弁しました。

たばた議員は熱中症の対策として必要ではと考え、小中学校の実態について質問。市は、熱中症は屋外で2件起きたが、校舎内では発生していない、23年度に学校内の気温を調べると答えました。

たばた議員は、実際に子どもたちが過ごす教室の気温・湿度を調べることに意味がある、子どもたちの協力を得て調査してほしいと要求しました。さらに、都の補助金が23年・24年度のみのものであることに触れ、国や東京都に補助金の延長を申し入れるよう求め、市長が補助金延長を要請すると答えました。

申請書類の性別記載見直しを

性同一性障害とは、生まれ持った身体的な性別と精神的な性別が一致しない障がいです。ドラマや新聞などで取り上げられ、徐々に知られてきましたが、まだまだ一般的には浸透していないことが、当事者の生きにくさにもつながっています。

本市でも、多くの申請書類に性別記載欄があります。たばた議員は、性同一性障害の方に配慮して、各種申請書類の性別記載欄を削除できないか質問しました。市は、法令で決まっているものもあるが、これまで見直しをしてこなかったことを認め、全庁規模での見直しを検討すると答えました。

たばた議員は、医療関係など、身体的な性別の記載が必要なものにも、場合によってはかっこ書きで精神的な性別の記載が必要になったり、あるいは単なる慣習で記載欄が設けられているものもあるのではないかと、十分な検討をするよう要求しました。

さらにたばた議員の質問に答えて、本人確認ができれば性別が空欄でも可とする場合があるとしました。たばた議員は、職員の性同一性障害への理解を深めてもらい、柔軟な対応をするよう要望しました。

法律相談

4月28日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。

秋川駅自由通路にエレベーターを

市民からの要望がつよい秋川駅自由通路へのエレベーター設置を求めて質問しました。市は、現在のスロープは自転車用であり、バリアフリーにはなっていないことを認めましたが、設置には3億円かかるため困難だと答えました。たばた議員は、国から55%の補助金が出ることを確認し、さらに1億円弱かかるとされているエレベーターが、1機200万円程度で買えるという新聞記事を紹介。市長も、可能性を探ると答えざるを得ませんでした。

また、JRのバリアフリー対策として設置されている直接ホームに入るための扉の利用について、交通バリアフリー法のガイドラインでは、知覚機能や運動機能が低下した高齢者や妊産婦、けが人の他、つえを必要としている人や子ども連れなども対象となっていることを挙げ、現状を聞きました。市では、視覚障がい者と車いすの人だけが対象になっていると聞いているが、市としては指導はできないと答弁。その中で、自由通路にエレベーターがあれば解消されるのだがとも回答。

たばた議員は、市民が困っている事例を示し、JRに対し扉の利用について改善を要請するよう求めるとともに、高齢化社会を迎えるに当たり、エレベーターの必要性はますます高まること、環境都市というからには公共交通の利用も促進されるべきであることから、積極的な取り組みを求めました。



バリアフリーのための扉だが...

エスカレーター前の機械室 移設を

秋川駅下りホームエスカレーター前は、機械室があるため狭くて危険です。この機械室を移設できないかと質問。市はお金がかかるためにJRがやってくれないと答えました。たばた議員は、エスカレーター前に人が並びぎゅうぎゅう詰めになること、特に雨の日など屋根がないために傘も差さなくてはならず大変危険であると指摘しましたが、市は、屋根をつけるために柱を立てると余計狭くなってしまいうために屋根の設置もむずかしいと答えました。

また、ホームの裏に位置する土地開発公社の土地(現在駐車場になっています)をJRに提供することも提案。市は、過去にもその条件を示したが、ケーブルの移動に高額な経費がかかるとして実現に至らなかったと答弁しました。

たばた議員は、JRにも企業としての社会的責任がある、市民の安全にかかわることなので、危険を認識しているのであればなおさら早急に安全対策をとるよう、さらに強く要請するよう求めました。



秋川駅下りホーム エスカレーター付近

東日本大震災救援募金へのご協力ありがとうございます。

この間日本共産党あきる野市議団とあきる野市委員会が行ってきた街頭募金などに、41万円を超える救援募金が寄せられました。日本共産党全体では4億円を超える募金が寄せられており、すでに3県42市町村に送ったほか、その後集まった分も今後被災地へと送ります。引き続き取り組んでいますので、市議団までご連絡ください。

ネギ4箱の提供がありました

市民の方から市議団に、被災地にネギを送りたいが市でも受け入れを断られ、どこで受け入れてくれるかわからなくて困っているとの相談があり、急きょ日本共産党宮城県委員会に連絡を取りました。宮城県委員会では「食糧は大変ありがたい、必要としている地域や避難所に届けます」とのことで、送料を市議団が負担して送りました。



後日、「無事届きました、ありがとうございます」とのお礼の電話がありました。

日本共産党宮城県委員会は被害の大きかった名取川にも近い仙台市若葉区にあります。車を流された地域などに物資を配達しており、生鮮食品からレトルトまで、食糧は大歓迎とのことでした。

食糧など救援物資を送りたいという方は、まず連絡を取ったうえで、直接送ってくださると助かります。

日本共産党宮城県委員会

電話 022 - 267 - 1511

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1 - 12 - 25

あきる野市の支援物資受け入れは一時中止に

東京都の支援物資受け入れに呼応して始まったあきる野市での支援物資受け入れは、物資受け入れ側の自治体がパンク状態になったため、一時中止になっています。特に日持ちのしない食品などは管理・保管がむずかしいため、受け入れることができないそうです。

受け入れ側の要望があり次第、募集を再開します。3月25日までに寄せられた物資は、市で保管して、必要とされ次第、必要な自治体に送る予定とのことでした。

自治体レベルではむずかしい支援物資も、民間レベルではうまく循環させているところもあります。市議団は、市での受け入れが無理でも、せめてその窓口を紹介するよう要望しています。

支援の申し出続々

市議団には、ほかにもランドセルを送りたいなどの声が寄せられています。ランドセルは全国各地で取り組みがされており、呼びかけていた千葉の企業でも申し出の多さに一時受付を中止しているそうです。

今後、学用品など必要になることが予想されますので、その時々状況に応じて呼びかけを行っていく予定です。

日本共産党あきる野市議団の

東日本大震災についての申し入れに対し、市から回答がありました

計画停電について

4月・5月は原則として実施しないことになりましたが、実施の場合でも拝島～青梅・奥多摩方面の電車を走らせるよう、西多摩広域行政圏として申し入れを行っています。あきる野市長も要望活動を実施しているとのことでした。

医療機関・在宅での酸素吸入などの利用者については、厚生労働省の対応方針が出たので、その依頼により放送など行っています。メーカーからも顧客に対しての安否確認を行ったり、計画停電の連絡を入れているなどの情報が入っています。その他、保健所で把握している患者さんには、保健所からも連絡がされています。東京電力でも器具の貸し出し等の対応をしているようだとのことです。

原発問題について

あきる野市内の水道水は、8割～9割が多摩川水系の小作浄水場からひかれており、また、五日市地区は地下水から引かれています。このため、放射性物質の心配はないとのことでした。

野菜や水道水については、市独自に調査するよう、市議団として今後も要請していきます。

避難者の受け入れについて

楓ヶ原会館を受け入れ場所としています。風呂はありますが、台所は狭いので、生活福祉課から差し入れなど行いました。

利用していた避難者（一世帯）は、アパートに移ったため、現在利用している人はいないそうです。

受け入れは4月末まで延長となりました。

その他

防災無線については、試験放送の実施や、市民からの聞こえないという申し出を受け、業者に調査させています。調査結果を見ながら改善策を検討するとのことですので、聞こえない地域の方は申し出てください。

(市役所 地域防災課 558-1111)